

- ドイツ・レオポルディーナ主催のもと、5月31日にベルリンでScience7 Dialogue Forum 2022が開催され、梶田会長と高村副会長が参加した。会議においては、以下の共同声明がシュミット独首相府長官・特別課題担当相に手交された。また、共同声明のテーマに関するパネルディスカッションが行われた。
  - 海洋と雪氷圏：緊急的な国際的対応の必要性
  - 脱炭素化：国際的な行動の緊急的必要性
  - 抗ウイルス薬：次のパンデミックに対する更なる備え
  - 人獣共通感染症と薬剤耐性に対するワンヘルス・アプローチの必要性
- 梶田会長は、G7やG20の政策に関する科学的助言に関するパネルディスカッションに、インドネシア科学アカデミー会長やウクライナ国立科学アカデミー会長らと共に登壇。学問分野を超えた取組の重要性や、来年のGサイ2023の見通しなどについて発言した。



会場の様子



梶田会長とインドネシア科学アカデミー会長



シュミット大臣に共同声明を手交する各国アカデミー代表



セッションに登壇する梶田会長



# Gサイエンス学術会議2022結果概要②

- その他、Science7 Dialogue Forum 2022出席に合わせて、パトリック・フランドラン・フランス科学アカデミー会長、ジェラルド・ハウグ・レオポルディーナ会長と、Gサイエンス学術会議2023で扱うテーマや政府・国民とのコミュニケーションについて意見交換を行った。

仏・フランドラン会長との意見交換



独・ハウグ会長との意見交換

